

藤沢市 西北部地域の

まちづくり



これまでのまちづくり

7 健康と文化の森地区

平成 2年	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスが開校
平成 24年	遠藤打越土地区画整理事業(約4.9ヘクタール)が完成
平成 29年	湘南慶育病院が開院



「湘南慶育病院(出典:医療法人社団健育会)」

8 健康の森地区

本市の三大谷戸の一つである遠藤笹窪谷をはじめとする自然環境の維持・保全を図るとともに、地域活性化に資する施設の整備を行いました。

令和 元年	健康の森地区の一部(約20ヘクタール)を「遠藤笹窪特別緑地保全地区」に指定
令和 2年	健康の森と少年の森を結ぶ散策路「もりのさんぽみち健康の森・少年の森フットパス」を指定
令和 4年	遠藤笹窪谷公園(約2.5ヘクタール)が開園



もりのさんぽみち健康の森・少年の森フットパス

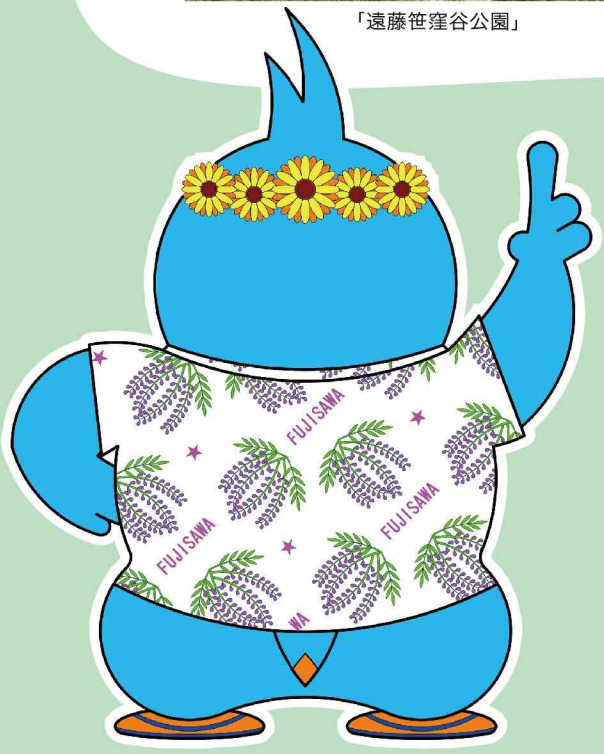


「遠藤笹窪谷公園」

遠藤笹窪谷公園は、まちなかの公園とは異なり遊具等は設置せず、里山や谷戸の景観を楽しむことをコンセプトとしており、園内には生物多様性サテライトセンターや菖蒲池のほか、雨水調整池を設置しました。



遠藤笹窪谷公園



健康と文化の森地区内の浸水対策

藤沢慶応前郵便局を中心とする広い範囲で発生する浸水被害の軽減を図るため、平成28年度に「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」を作成し、土地区画整理事業とともに雨水調整池整備などの浸水対策を行っています。



「浸水被害の様子(平成25年9月)」

このパンフレットのお問い合わせ先
藤沢市 都市整備部 西北部総合整備事務所
 藤沢市円行2丁目3番地の17 藤沢市まちづくり協会ビル3F
 TEL: 0466-46-5162(直通)
 mail: fj-seihoku@city.fujisawa.lg.jp

西北部総合整備事務所の紹介

西北部地域とは、藤沢市都市マスタープランにおいて市内を13の地区に分けてまちづくり方針を計画しており、そのうち「遠藤地区」と「御所見地区」で構成された約1,400ヘクタールを指します。

西北部総合整備事務所では、この西北部地域における「環境と共存するまちづくり」の実現に向け事業を実施しています。



〈ホームページ〉 <https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/seihoku/>



西北部地域まちづくり推進キャラクター カワセミの「西北ケン太郎」

新産業の森地区

新産業の森地区(約110ヘクタール)は、地域経済の活性化及び雇用の創出を図るため、藤沢市都市マスタープランに基づき新たな産業拠点の創出に向け段階的な基盤整備を進めています。

1 北部地区

北部地区(約23.3ヘクタール)では、「藤沢市新産業の森北部地区土地区画整理事業(約9.2ヘクタール)」などによる市街地整備とともに、進出企業による土地利用が進められています。



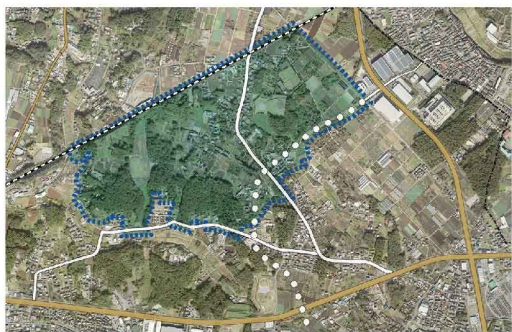
「新産業の森北部地区のイメージ」

2 第二地区

第二地区(約8.4ヘクタール)では、「藤沢市新産業の森第二地区土地区画整理事業」による市街地整備を進めています。

3 西部地区

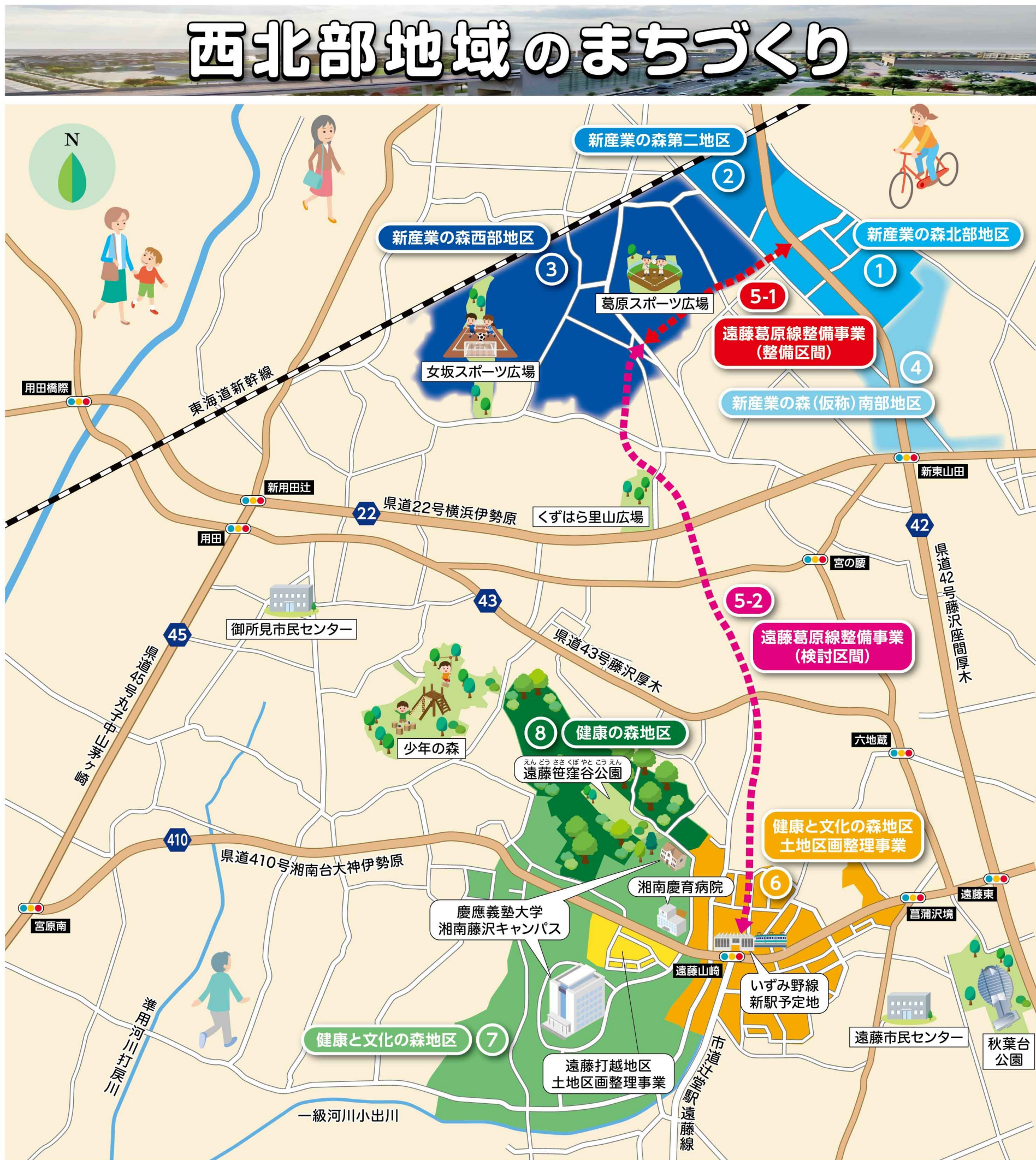
西部地区(約67.8ヘクタール)では、北部地区・第二地区に引き続き、さらなる産業拠点の創出をめざし、地域住民等との協働によるまちづくりの具体化に向けた検討を進めています。



「新産業の森西部地区 区域図」

4 (仮称)南部地区

(仮称)南部地区は、将来のまちづくりの可能性について検討を行います。



遠藤葛原線

遠藤葛原線は、新産業の森地区の土地利用転換を進める道路として、また、新産業の森地区と健康と文化の森地区を繋げるアクセス道路として整備を進めています。

幅員18mの道路が完成することにより、将来のいずみ野線新駅からの交通ネットワークの発展が期待されます。

5-1 整備区間

葛原第1工区として約0.7kmを整備しています。(令和7年度供用開始予定)



「整備中の葛原第1工区」

5-2 検討区間

約2.5kmの整備を検討しています。

健康と文化の森地区

健康と文化の森地区は、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスを中心に産・学・公の連携による産業創出や高度教育・研究機能の環境整備を誘導し、交通の利便性を活かした新たな都市機能の集積とともに周辺環境と調和した都市空間・景観形成を目指しています。

また、将来的にいずみ野線の延伸とともに新駅設置が期待されています。



「健康と文化の森地区将来イメージ(転写禁止)」

6 健康と文化の森地区土地区画整理事業

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスと連携した新たなまちづくりとして、「藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理事業(約36ヘクタール)」を実施し、商業施設や住宅の整備、研究開発施設の導入を行っています。